

**令和３年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河中央中学校長

令和３年５月２７日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は３年生で、国語と数学の２教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国 語	６４．６％		○			
数 学	５７．２％	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	79.8%				○	
書くこと	57.1%					○
読むこと	48.5%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.1%	○				

【考 察】

- 「書くこと」の領域では、全国平均を上回り、「話すこと・聞くこと」の領域では全国平均をやや上回りました。授業では、表現力の基盤の一つである語彙力の向上を目指しながら、学習内容を説明し合うことや自分の意見や考えを自分の言葉で表現することを協働的に行ってきました。今後は、さらに活用力が伸ばせるように、課題解決に際し、既習事項を適切に用い、多様な言語活動を通して解決に導く力をつけていきます。
- 「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では、全国平均を下回りました。文章に即した言葉の意味を捉える活動や、「誰が」「何をした」かを正しく読み取る活動等の充実を図り、難解な語句に惑わされることなく正確に文章の内容が理解できるよう、基本的事項の指導を充実させていきます。また、あらゆる場面を捉え、敬語等の知識の定着を図り、授業内でさまざまな作品に触れる機会を増やすことで、確かな学力を身につけられるよう努めていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	64.9%		○			
図 形	51.4%	○				
関 数	56.4%		○			
資料の活用	53.8%			○		

【考 察】

- 「資料の活用」の領域では、全国平均とほぼ同じでした。基本的な知識は身につけていますが、データの傾向をとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて表現することに課題があります。与えられた情報を正しく読み取り、学んだ内容を活用することをおして、根拠を基に説明する力を高めていきます。
- 「図形」の領域では、全国平均を下回り、「数と式」、「関数」の領域では、全国平均をやや下回りました。週末課題や計算コンテストを通して基礎的な計算技能を高めていくと共に、関数や図形の授業では、数量や図形などについての知識・技能の定着を図ります。
- また、事象に即して解釈し、事象の特徴を説明する問題に課題がみられました。問題から、事象を正しく解釈して、最適な解決方法を自分で選択し、自分の考えを説明したり他者の説明を聞いたりする活動を通して、数学的な表現力を高めていきます。